

令和5年 11月24日  
議席番号 26 番

通告番号 番

令和5年11月24日 午 前  
時 分 受 領  
後

氏 名 おだぎり たかし ㊞

流山市議会議長 坂巻 儀一 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第 4 回定例会における一般質問を下記のとおり通告します。

質問事項	要旨（質意を明確、具体的に）
1 市長の政治姿勢について	<p>（1）来年度の予算編成方針について問う。</p> <p>ア 令和6年度どのような点に留意しつつ、政策上、どのような事業を最優先課題としているのか。特に、世界的パンデミックと半世紀ぶりの物価等の高騰の下でも、巨額な積立を実行し、なおかつ大幅な黒字を生み出している財政状況がある。一方、生活の厳しさが増し、追い詰められている感を強めている市民生活の日々の実感からすれば、福祉の増進の実感が近隣市と比較しても不十分さを残していると捉えているが、市長の見解を問う。</p> <p>イ 令和5年第1回定例会予算審査特別委員会や第3回定例会決算審査特別委員会の指摘要望事項（議会全体の合意事項）をどのように反映するべく、協議しているのか。</p> <p>（2）経済の長期停滞の大きな要因の一つに、賃金が変わらない実態があり、その背景に非正規雇用の拡大と、それに付随する低賃金構造の拡大や性差による処遇格差が指摘され、社会全体で解決することが求められていると捉えているが市長の見解を問う。また市職員非正規雇用の賃金を含めた処遇改善を図る必要があると考える。現状と令和6年度に向け、どのような取り組みを図るのか。</p>
2 環境行政について	<p>（1）事業系ごみの出し方の見直しについて、現状では目的も、効果も、目標も、変更点も、変更に伴う実務手続きも十分な周知が図られず、家庭ごみへの指定袋導入後同様、大きな混乱と不満の鬱積を強く予見しているが、市の見解を問う。</p>
3 中部地域のまちづくりについて	<p>（1）初石駅橋上化工事の供用開始は、当初の令和6年12月末から、令和7年3月末へ遅延してきた。しかし、現場の実態からさらなる遅延が生じかねないと捉えているが、現状ではどのような協議が東武鉄道株式会社と行われているのか。</p>